

# ミッション・価値・目標設定シート(MVTシート)

様式2-1(旧)

## ○基本情報

記載日

平成28年2月15日

団体名	株式会社神戸商工貿易センター	所管局名	経済観光局
設立目的	国際港都神戸の貿易、海運等経済関係主要機能の充実及びこれら相互の有機的連携を図るため、神戸商工貿易センタービルを建設し、その管理及び運営を行うことにより、経済活動の円滑化及び効率化を促進し、さらには神戸港及び神戸経済の発展に寄与すること		

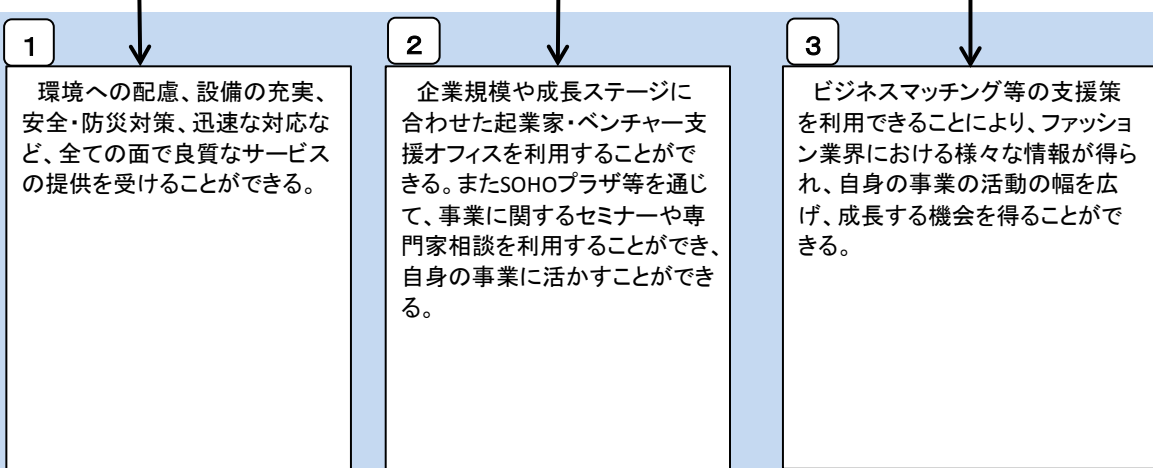
M

市が団体に来るミッション  
Mission

長期	市場ニーズの動向を把握し、顧客のためになるビル事業や展示場等コンベンション事業を展開することにより、神戸経済の発展に寄与するとともに、地域の振興に貢献する。
5年	1・・・顧客・事業者が安心して快適に利用することができる施設や交流の場を提供することで、顧客満足度の向上を図り、地域の振興に貢献すること。 2・・・成長性のあるベンチャー企業等を支援・育成するための各種支援策を実施すること。 3・・・ファッション関連企業のニーズを踏まえたファッション産業振興に繋がる活動を展開すること。

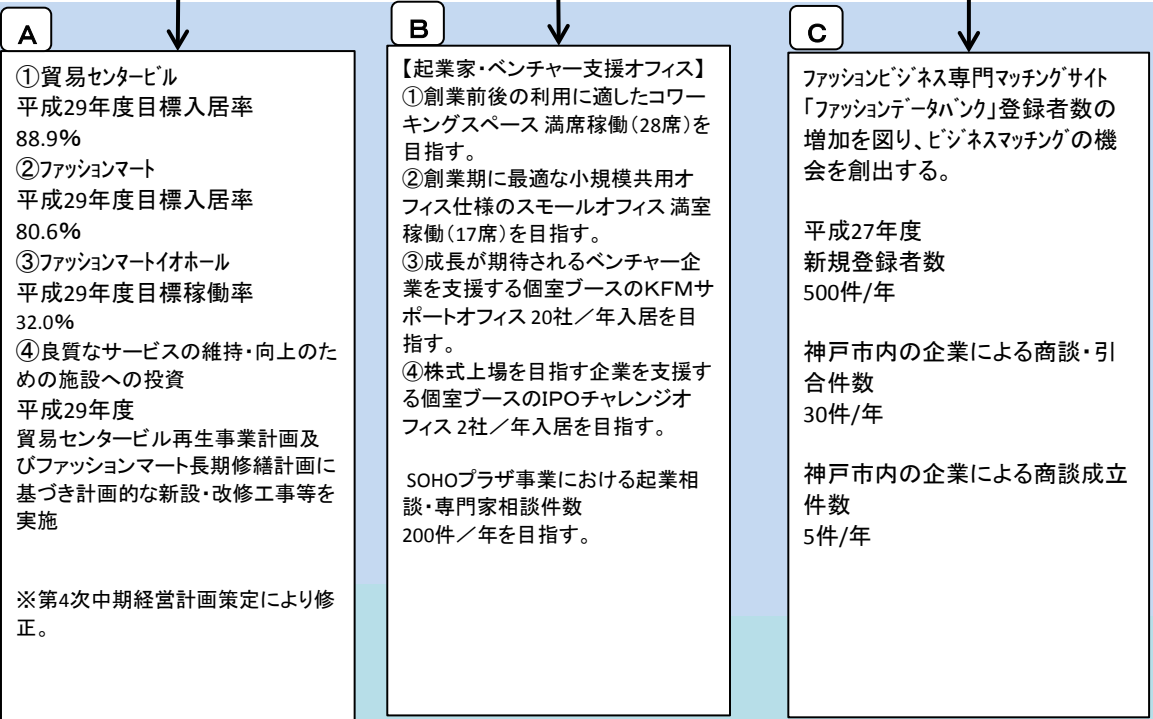
V

市民に提供する価値  
Value



T

事業目標  
Target



# ミッション・価値・目標設定シート(MVTシート)

様式2-1(新)

## ○基本情報

記載日 平成30年8月17日

団体名	株式会社神戸商工貿易センター	所管局名	経済観光局
設立目的	国際港都神戸の貿易、海運等経済関係主要機能の充実及びこれら相互の有機的連携を図るため、神戸商工貿易センタービルを建設し、その管理及び運営を行うことにより、経済活動の円滑化及び効率化を促進し、さらには神戸港及び神戸経済の発展に寄与すること		

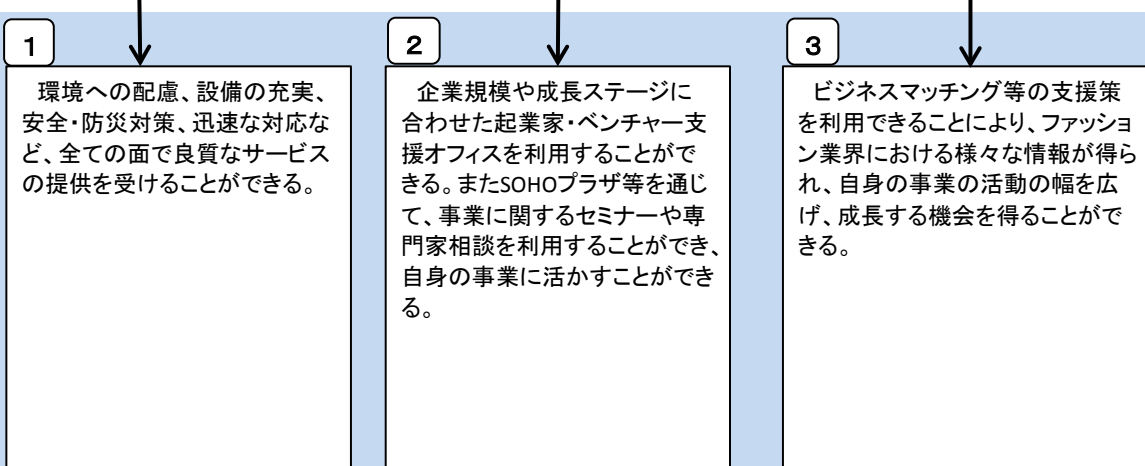
M

市が回生し求めるミッション  
Mission

長期	市場ニーズの動向を把握し、顧客のためになるビル事業や展示場等コンベンション事業を展開することにより、神戸経済の発展に寄与するとともに、地域の振興に貢献する。
5年	1・・・顧客・事業者が安心して快適に利用することができる施設や交流の場を提供することで、顧客満足度の向上を図り、地域の振興に貢献すること。 2・・・成長性のあるベンチャー企業等を支援・育成するための各種支援策を実施すること。 3・・・ファッション関連企業のニーズを踏まえたファッション産業振興に繋がる活動を展開すること。

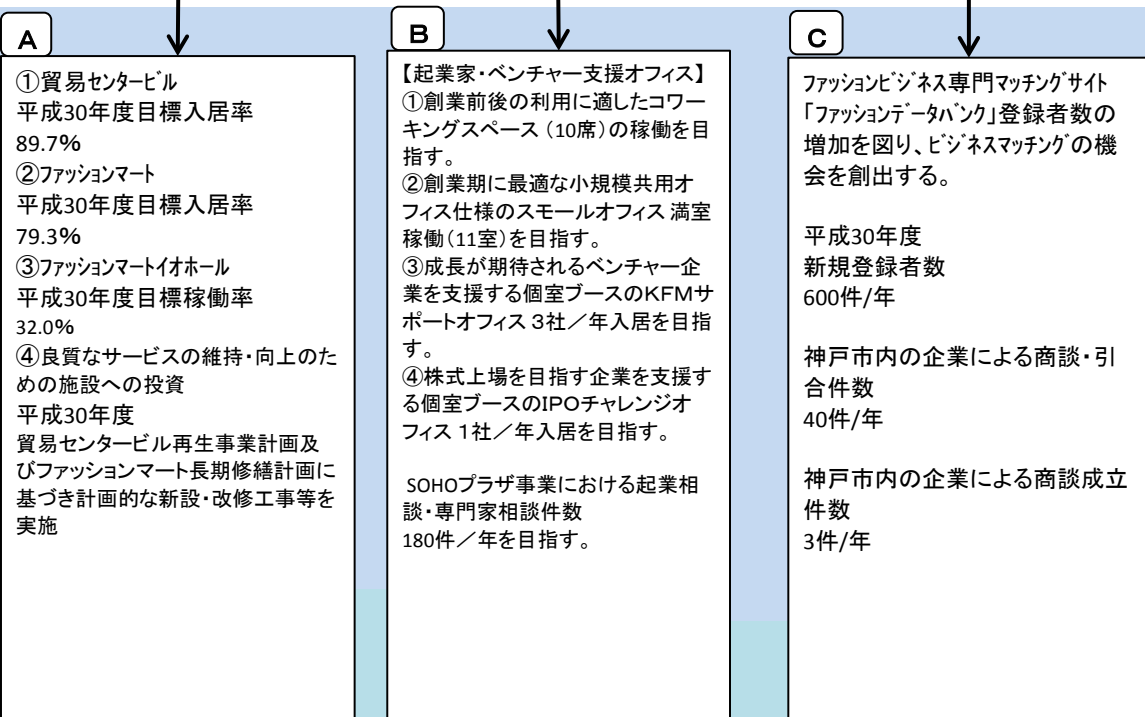
V

市民に提供する価値  
Value



T

事業目標  
Target



## 平成29年度 ミッションの達成評価シート1 [1次評価]

		記載日	平成30年8月17日
団体名	(株)神戸商工貿易センター	所管局名	経済観光局

## ○団体による自己評価[1次評価]

事業No.	1-A	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:事業1、2、4)
H29事業目標	①貿易センタービル平均入居率 88.9% ②ファッションmart平均入居率 80.6% ③ファッションmartイオホール稼働率 32.0% ④貿易センタービル再生事業計画及びファッションmart長期修繕計画に基づき計画的な新設・改修工事等を実施し、施設機能の充実を図る。		
H29実績評価	①貿易センタービル平均入居率 90.6% 大型テナントの入居や既存テナントの増床等により目標を達成した。今後も「オフィス優遇制度」の充実や仲介業者との連携を密にし、新規テナント誘致に努めるとともに、神戸市本庁舎の建替えに伴う関係部局移転にも積極的に対応する。 ②ファッションmart平均入居率 81.5% リテール部門での大規模店舗の入居や定期的なオフィス内覧会による新規テナントの入居、既存テナントの増床等により目標を達成した。 ③ファッションmartイオホール稼働率 37.8% 昨年度の30.7%から目標とした32%を超える稼働率を達成できた。 ④貿易センタービル再生事業計画及びファッションmart長期修繕計画に基づき計画的な新設・改修工事等を実施し、施設機能の充実を図った。 [貿易センタービル] ・防水板設置工事実施(H29/10~H30/3) ・出入口・EV内監視カメラ増設工事実施(H29/9~10) ・「貿易センタービル再生事業計画」について概ね10年間(H30~H40)の改修計画を精査し、見直しを行った。 [ファッションmart] ・外壁西面改修工事実施(H29/10~H30/3) ・イオホール照明設備(調光制御盤)更新工事実施(H29/3~6)  ※これらの業務は、当該事業のミッションである「安心して快適な施設の提供を通じた顧客満足度の向上、地域の振興」に貢献した。		評価  S A B C
H30事業目標	①貿易センタービル平均入居率 89.7% ②ファッションmart平均入居率 79.3% ③ファッションmartイオホール稼働率 32.0% ④貿易センタービル再生事業計画及びファッションmart長期修繕計画に基づき計画的な新設・改修工事等を実施し、施設機能の充実を図る。		
評価担当者	貿易センター総務課長 大寺常雄 ファッションmart総務課長 山本秀男		

事業No.	2-B	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:4)
H29事業目標	①創業前後の利用に適したコワーキングスペース20席の稼働を目指す。 ②創業期に最適な小規模共用オフィス仕様のスモールオフィス満室稼働(14室)を目指す。 * H30年度よりSOHOプラザ/シューズプラザ終了につき、下期から募集停止。 ③成長が期待されるベンチャー企業を支援する個室ブースのKFMサポートオフィス5社/年入居を目指す。 ④株式上場を目指す企業を支援する個室ブースのIPOチャレンジオフィス2社/年入居を目指す。 ⑤SOHOプラザ事業における起業相談・専門家相談200件/年を目指す。		
H29実績評価	①コワーキングスペース 8席(平均) 2年満期による終了もあったが新規利用者が9月以降に重なり、稼働率を落とした。(新規11名、終了11名) ②スモールオフィス 13室(平均) 1室の明渡し遅延が長期に渡り満室に至らなかった。(新規5社、終了2社) ③KFMサポートオフィス 1社(実績) IPO審査でBランクの1社が入居したのみ(新規1社、終了3社) ④IPOチャレンジオフィス 0社(実績) 上期に2社から応募があり1社が合格したが他施設への入居となった。またIPOを目指さない1社の終了があった。(新規0社、終了1社) ⑤SOHOプラザ起業相談、専門家相談 175件(実績) 目標に届かなかったものの、起業相談は女性の相談件数が増え昨対120%と大幅に伸びた。 * 各項目において目標数値に届かなかったが起業家及びベンチャー企業の支援・育成施設としての認知度は高まっている。		<b>評価</b>  S A B C
H30事業目標	①創業前後の利用に適したコワーキングスペース10席の稼働を目指す。 ②創業期に最適な小規模共用オフィス仕様のスモールオフィス満室稼働(11室)を目指す。 ③成長が期待されるベンチャー企業を支援する個室ブースのKFMサポートオフィス3社/年入居を目指す。 ④株式上場を目指す企業を支援する個室ブースのIPOチャレンジオフィス1社/年入居を目指す。 ⑤SOHOプラザ事業における起業相談・専門家相談180件/年を目指す。		
評価担当者	営業1課 課長 関 武司		

事業No.	3-C	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:4)
H29事業目標	①ファッションデータバンク 新規登録者数 600件/年 ②神戸市内の企業による商談引合い件数 30件/年 ③神戸市内の企業による商談成立件数 5件/年		
H29実績評価	①ファッションデータバンク新規登録者数 618件 ②神戸市内の企業による商談引き合い件数 39件/年 昨年度と比較すると引き合い件数が2倍以上に増えたものの、同一業者による件数が多かった。 ③神戸市内の企業による商談成立件数 2件/年 引き合い件数が多い割りには商談の結果、成約に至らなかった。 ※昨年度の神戸市内の企業の新規登録が18件と非常に少なかった。 神戸市内の事業者にいかに認知してもらって利用していただけるかが課題である。		評価
			S A B C
H30事業目標	①ファッションデータバンク 新規登録者数 600件/年 ②神戸市内の企業による商談引合い件数 40件/年 ③神戸市内の企業による商談成立件数 3件/年		
評価担当者	営業1課 課長 関 武司		

## 平成29年度 ミッションの達成評価シート2 [2次評価]

		記載日	平成30年8月23日
団体名	(株)神戸商工貿易センター	所管局名	経済観光局

## ○所管局による総合評価(ミッションの達成評価)[2次評価]

コメント	<p>【ミッション毎の評価】</p> <p>1・・・評価 A 平均入居率・ホール稼働率はいずれも事業目標を上回っており、計画に基づいた改修工事等の実施により施設機能を良好に保つことができている。</p> <p>2・・・評価 B いずれの項目も目標を達成していない。一般オフィスへの入居率向上を目的とした取り組みであり、事業内容及び目標設定を再検討すべきである。</p> <p>3・・・評価 A 市内企業による商談成立件数は目標を下回っているが、それ以外の項目は目標を上回っており、総合的には目標を達成できている。</p> <p>【総合評価の理由】 一部目標を達成できていない事業があるが、入居率向上など地域の振興に貢献できている。</p>	総合評価
		<p>S</p> <p><b>A</b></p> <p>B</p> <p>C</p>
<p>対応方法</p> <p>(総合評価がB又はCの場合は必ず記載)</p>	/	
評価担当者	ファッション産業課長 河端 陽子	